

知事臨時記者会見

■日時 令和2年4月1日（水）19:00～19:20

■会場 応接室

【発表事項】

本日、福島市保健所が行った新型コロナウイルス検査の結果、県内5例目の陽性患者が、また、県衛生研究所が行った検査の結果、6例目となる陽性患者がそれぞれ確認されました。

患者の概要ですが、5例目の患者は、70代の女性で、福島市に居住されています。この方は、昨日、陽性が確認された3例の方の同居の妻となります。これまでの経過ですが、3月29日（日）に38.5度の発熱、咳症状があり、翌30日（月）に37度の微熱、夜間より咳症状が強くなり、吐き気も出てきたとのことです。31日（火）には38度台の熱が継続していましたが、3例目の患者である夫が検査で陽性と判明したことから、帰国者・接触者外来を受診されました。本日1日（水）、福島市保健所での検査の結果、陽性であることが判明いたしました。現在、県内の感染症指定医療機関に入院中であり、症状は軽いとのことであります。

行動歴につきましては、3例目の患者と同居の妻であり、2週間以内の海外渡航歴はありません。3月29日の症状出現後の外出はありません。行動の詳細及び濃厚接触者については福島市保健所において、現在調査中であります。

6例目の患者は、南相馬市に居住する50代の男性です。これまでの経過ですが、この方は、3月24日（火）に37.1度から37.5度の発熱があり、咳の症状がありました。3月26日（木）に医療機関を受診されました。3月28日（土）に味覚障害、嗅覚障害や気持ちが悪い、咳症状といった症状がありました。この日は、熱はなかったということであります。3月31日（火）に帰国者・接触者相談センターに相談され、紹介を受けて、帰国者・接触者外来を受診されました。本日4月1日、検査の結果、陽性であることが判をしました。患者は、感染症指定医療機関に入院予定であり、症状は軽いとのことであります。

行動歴につきましては、3月20日（金）に東京都内に滞在しております。過去2週間以内の海外渡航歴はありません。行動の詳細及び濃厚接触者については、相双保健所において、現在調査中であります。

県民の皆さんへのメッセージであります。新型コロナウイルス感染症は、昨日の3例目、4例目に続いて、本日5例目、6例目の患者が発生しました。5例目の患者は、3例目の患者の御家族ですが、6例目の患者につきましては、現在のところ、感染経路は明らかになっておりません。現在、県では、福島市保健所、南相馬市を始め、関係機関と連携しながら、感染経路の把握や、濃厚接触者の確認など、疫学調査を進めております。県民の皆様には、改めて正確な情報に基づいて冷静に行動していただくようお願いいたします。昨日も申し上げましたが、これまでと同様、咳エチケットや手洗いの励行を始めとした感染症予防を徹底するとともに、発熱等の風邪症状が見られる場合には、外出を自粛するほか、改めて、密閉・密集・密接の3つの「密」が重なる場所を避けていただく行動、特に、感染の発見が難しいとされる若年層の皆さんも含め、慎重な行動、人混みへの不要不急の外出の自粛、イベントなどへの参加の自粛について御協力をお願いいたします。風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている方、強いだるさや息苦しさがある方、また、海外から帰国された方で発熱などの症状のある方は、最寄りの保健所の帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

県では、今後とも検査体制の強化や医療提供体制の確保に取り組んでまいります。引き続き国、市町村など、様々な関係機関と連携し、県民の皆さん的安全を最優先に考えた対策を迅速、的確に進めてまいります。県民の皆さんの御協力を是非よろしくお願いいたします。

報道機関の皆様にお願いいたします。県は、相談体制を拡充し、県民の皆さんの不安に応える体制を強化するほか、正確で迅速な情報発信に努めてまいります。県民への正確な情報提供に対する御協力をお願いいたします。また、感染者や家族周辺の方のプライバシーにも是非配慮をお願いいたします。

私からの発表は以上であります。

【質問事項】

【記者】

5例目、3例目の妻の女性について、この方は、症状が出た後に外出しているかなど、おおまかなものでいいのですが、行動歴が分からぬいかということと、職業が分かればお願ひします。

【知事】

5例目の方ですが、まず職業は無職であります。そして、行動歴については、発症後、利用された公共交通機関はありません。そして、発症後の買い物など、そういう行動はありません。現時点では、それ以外の外出もないと伺っております。

【記者】

6例目の方について、この方の職業と、20日に東京に滞在されたということで、この時点では恐らく症状は無かったと思いますが、どのような経路で帰られたかということ、そして、発症した後の行動について教えてください。

【知事】

まず、6例目の方の職業については、無職であります。発症後に利用された公共交通機関はありません。また、発症後の買い物等については、現在、相双保健所において調査中であります。それ以外の行動についても現在、確認中であります。

また、感染の状況に関わることでございますが、東京での行動については、3月20日に東京都内のライブハウスに行っておられます。その前後の交通機関の利用については、現在、調査中でございます。

【記者】

この2日間で、実に4人の感染が出ました。二次感染もあるということで、まずその受け止めをお伺いします。また、東京都は、学校の再開を5月6日まで延長しました。福島県の場合、まだこれからだだと思いますが、知事の考え方をお聞かせください。

【知事】

まず、今回、昨日の3例目、4例目に続いて、5例目、6例目の発症ということになりました。この2日間で、福島県の陽性感染者数が2名から6名に増えたということを重く受け止めております。また感染経路が明確でない方もおられますし、5例目の方は、県内で恐らく初めての二次感染の可能性もあります。そういう意味で、この2日間は、新型コロナウイルス感染症の状況が、より深刻になっていると考えております。県民の皆さんに是非お願いしたいことは、咳エチケットあるいは手洗いの励行など、自分自身の身を守る行動であります。また3つの「密」、密閉・密集・密接、こういった行動に至らないように、自分自身が気を付けていただくことが何よりも大切だと思います。

併せて、学校の再開の関係であります。県教育委員会において、国の専門家会議の見解や文部科学省の通知を踏まえ、県立学校における教育活動を再開する方針を、昨日、改めて確認したと聞いております。一方で、現在、福島県内の状況はより厳しくなってきております。そういう中で、学校における教育活動の実施に当たっては、3つの「密」、密閉・密集・密接を避けること、発熱等の症状がある場合には、登校を控えていただくこと等の感染防止対策を徹底することを周知しているところであり、各学校において、十分な対策をとっていただきたいと考えております。

【記者】

5例目の件ですが、職場内で既に濃厚接触者が複数いるという話もあります。考えたくはありませんが、場合によっては、クラスターということにもなりかねないのかなと思いますが、この

状況を知事はどうに受け止めていらっしゃいますか。

【知事】

昨日から福島市の保健所において、調査を行っていただいております。現時点での調査によりますと、職場における濃厚接触者については、現在12名であるということを伺っております。今後の状況については、福島市の保健所において継続して調査をしていただく予定でございます。

【記者】

6例目の方の家族はどのような構成でしょうか。

【知事】

6例目の方には同居家族がおられます。そして、同居家族を含めて、濃厚接触者について現在相双保健所で調査しております。

【記者】

家族は何人でしょうか。

【知事】

具体的な数字については、改めてブリーフィングでお話をさせていただきたいと思います。

【記者】

6例目の方については、都内に滞在とありますが、これは何泊かされているのでしょうか。

【知事】

日帰りであると聞いております。

【記者】

6例目の方について、「ライブハウス」というのは、東京の事例を詳細には把握していないのですが、東北内で、このライブハウスにいた方も感染が確認されているなど、そういう事例はあるのでしょうか。

【知事】

現在、この3月20日のライブハウスとその状況について、詳細を確認中であります。

【記者】

では、まだ県としてどういう状況か、把握していないことでしょうか。

【知事】

現在、確認中でありますので、もうしばらくお時間を頂きたいと思います。

【記者】

5例目の方ですが、昨日、市の会見で、家族は確か3人家族と発表されていたかと思います。二次感染が疑われる中で、もう一人の方はどのような状況でしょうか。

【知事】

今回、5例目の方が3例目の方と夫婦ということになります。そして、御家族はお子さんがおられると伺っております。

【記者】

お子さんについて、今のところ、症状はどのような状況でしょうか。

【知事】

現時点では、症状はありません。今後、状況をしっかりと確認してまいります。

【記者】

昨日の件も、今日の6例目も、一度、医療機関を受診したのに診断が出ず、家に帰っているということがあって、そこで恐らく接触する方が増えたのではないかと思います。先ほど、知事は「検査体制の強化に取り組む」とおっしゃいましたが、医療機関を受診して診断が出ないということには、どういった理由があって、今後、どう対応するのかお伺いします。

【知事】

今回の新型コロナウイルス感染症について、現場の医療機関では、日々の様々な状況によって情報を集めながら、懸命に対応していただいていると考えております。今、お話をあったような点については、後ほど金光先生からブリーフィングを頂きますので、そこで専門家の立場からお答えを頂ければありがたいと考えております。

【記者】

それは、体制が不足していて、医療機関でチェックできていないということではないのでしょうか。

【知事】

そういうことではございません。福島県では、検査体制を増強しており、現在、様々な検査にしっかりと対応できる状況になっておりますので、そういったキャパシティの関係でお断りしているということはありません。

【記者】

先ほどの発言の確認ですが、学校（の再開）に関しては、対策を十分にとった上で、昨日の方針に変わりないということでおろしいでしょうか。

【知事】

はい。そのとおりです。

【記者】

先ほど、県内で初めての二次感染事例として5例目の方の紹介を受けましたが、これは男性の方から女性に感染したというふうに現時点では考えられているという理解でよろしいでしょうか。

【知事】

改めてですが、3例目の方が、既に陽性患者として発症されております。そして、5例目の方は、やはりタイミングから見ると、二次感染の可能性があるということを先ほど申し上げたつもりでございます。まだ確定しているわけではありません。

(終了)